

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域学校との連携による駒場線バスラッピング事業
事業主体 (連絡先)	飯田市 (リニア推進課公共交通係 電話 0265-22-5361)
事業区分	④安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	702,000円 (うち支援金: 468,000円)

#### 事業内容

1 飯田風越高等学校生徒によるバスラッピングのデザイン画についての打合せや聞き取りを実施した。

時期 7月13日から10月17日のうち4回

場所 飯田風越高等学校美術室

参加者 美術部生徒・顧問他

2 完成したラッピングバスのお披露目式を開催した。

時期 11月3日(土)

場所 飯田市役所向かいの扇町大型バス駐車場

参加者 飯田市長、飯田風越高等学校長・美術部生徒他

3 公共交通を利用しやすくするための取組み、利便性向上への要望、リニア開通後の公共交通への期待について、意見交換を行った。

時期 3月19日(火)

場所 飯田風越高等学校

参加者 飯田風越高等学校生徒会、他



【バス出発式の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①広域バス駒場線の利用者増加
- ②バス路線への愛着の醸成

#### 事業効果

新たなラッピングバス車両の運行開始は11月3日からであるが、

①平成30年4月から12月までの広域バス駒場線の利用者は184,370人と前年同月比0.2%減少である。

②昨年度は阿智高等学校の生徒がデザイン画を作成し、合わせて2台のラッピングバスが飯田市と阿智村をつないで毎日走っている。広域バス駒場線は、飯田下伊那郡内で一番輸送量の多い路線であり、注目を集めている。

- ・ラッピングの検討及び意見交換により、高校生への意識の高揚につながった。
- ・意見交換においては、生徒会において通学利用のある生徒の意見、使っていない生徒への啓発ができた。

#### 今後の取り組み

バス車両の更新が一区切りとなるためラッピング自体は終了するが、南信州広域連合の乗り方パンフレットへのラッピングバスの掲載やお仕事キッズタウンへの参加などは継続していく。

また、バスの乗り方教室等のイベントにラッピングバス車両を使い、親しみを持ってもらうことにより、バス利用者を増やしていく。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

バス利用者が減少しているのは少子化の影響であり、利用促進により減少を食い止めている。